

議 事 概 要

1 会 議 名	令和 8 年度第 1 回太宰府市五条地区活性化検討委員会
2 開 催 日 時	令和 8 年 8 月 2 4 日（月） 1 4 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0
3 開 催 場 所	太宰府市役所 4 階大会議室
4 出 席 者 名	【委員】 姫野委員（委員長）、池添委員（副委員長）、古賀委員、浦山委員、宮原委員、宮本委員、森口委員、竹川委員
5 議 題	【議事】 議題 1 五条地区の活性化について 【報告】 報告 1 市民意見の収集について
6 内 容	
事務局	（開会挨拶）
高原市長	（挨拶）
	（傍聴者入室）
事務局	議事に入る。進行については、太宰府市五条地区活性化検討委員規則第 6 条の規定により委員長にお願いする。
委員長	【議題 1 五条地区の活性化について】 議事に入る前に、委員の皆様から五条地区のポテンシャルをお聞きしたい。
委員	ご飯を食べに行くのは五条駅前。小料理屋のいいお店がいろいろある。宇佐殿、金掛天満宮など、太宰府の歴史や伝承に関わる史跡等が五条駅周辺にたくさんある。五条駅周辺を歩いて観光する取り組みを 20 年くらい続けている。観光では、天満宮や政庁跡への動きはあるが、五条地区を含めた回遊行動は起きていない。五条は掘り起こせばもっと魅力がある。
委員	周辺部に住んでいる人間にとって五条の魅力はよくわからない。太宰府市の真ん中に五条がある。「五条を市の中核にしたい」という意見があったと思うが、太宰府市には「へそ（センター）」がない。にぎわいの中心、そこに行けば何かに出会えるという場所がない。今回の議論は、五条地区を良くすることのみにとどまらず、市全体から見た時の五条の役割を議論すべきだと思う。

委員	太宰府市には詳しくないが、まちづくり事業本部としては二日市駅を中心に考えてしまう。太宰府駅と二日市駅の間にある五条駅の役割について、少し広域的な目線からも皆さんと一緒に考えていきたい。
副委員長	五条地区は中心として、商業機能、行政機能、公共施設等、いろいろな機能が集まっていると感じる。いろいろな人が集まれる場所でもあるし、集まりにくくなっている場所でもあるので、それをどう整理、再編していけるのかが課題だと思う。
委員	商売を中心に考えると、対象は地域住民になる。元自治会長と一緒に、地域と協力してまちづくりをやってきた。何をもって五条地区の活性化というのか。人がたくさん来ればいいのか。全国的に有名になればいいのか。いろいろ疑問を感じながら、委員会にきた。こうすれば地域の人に住みやすくなる、地元の人が働きやすくなる、そういう目線で検討できればと思う。五条は太宰府市唯一の商店街があり、若手も入りたいと言ってきてくれるようになってきている。
委員	太宰府天満宮との関連で考えるのか、住民の暮らしに重きをおくのか。車での往来なのか、徒歩なのか。夜間の宿泊なのか、昼間なのか。周辺の大学との連携も大事。レジェンド的な飲食店も多くある。商売のポテンシャルはお店がなぜ入れ替わったのかを調べると分かるかもしれない。五条駅の反対側に出る改札を作ることができれば、ポテンシャルはすごく上がると思う。タイのスクンビットのようにソラリア西鉄ホテルがあって、一階に梅の花があるような施設ができればポテンシャルが上がると思う。ポテンシャルがあるとしてもお金がどれくらいかかるかも課題。ローマは賑わっているところには車は入らずに、そこにアクセスするモビリティが充実している。
委員	太宰府市の人口が減らないのは西鉄電車が通っているから。太宰府駅は観光拠点。五条駅は商業、病院が多い。五条も昔に比べると人が減っていて、通過する場所になっている。市の自治協議会からずっとお願いしているのは、五条駅の両方に改札を作ってほしいということ。それと、道路が片側通行だったり、県道から車が入れなかったりする。それらをなんとかしたい。
委員長	ありがとうございます。資料は皆様熟読されていると思いますが、事務局から資料の説明をいただき、市民意見について改めて振り返り、出てこなかった課題等々をぜひ改めてまたお聞きしたい。
事務局	(資料説明)
委員長	資料説明を受けて、あらためて課題について意見交換していただけたらと思う。
委員	五条から天満宮まで歩いて行けるという利点を挙げている意見もあるが、実際歩く

	としんどい。したがって観光との連携だと宿泊施設の可能性があるのかなと思う。世界中で民族衣装を着るのが好きな人がいるので、そういうことが好きな人向けのサービスを含めた宿泊施設は可能性あるのではないかな。
委員長	太宰府市は日帰り観光がメインになっているので、それに対する対応にもなるのでは。
委員	車でくる人は歩かないので、生活者の滞在時間を伸ばすための回遊動線の拠点に五条地区はなと思う。そういう観点からでは、ちょっと休む場所がないのが課題。行きつけの人はお店を知っているが、学生や外から来た人が寄れる場所が少ない。五条に行く理由は電車に乗るか、買い物するかになっている。滞在時間を増やすためには長く居られる、暇をつぶせるような居場所が必要。いきいき情報センターのフリースペースにはたくさんの人がきている。文化的な施設をつくった方が、行く目的ができると思う。
委員長	私も今日行きつけのお店を作りたくて早めに来た。誰かと話しに行く、来たよと挨拶できるような、暮らしに密着した居場所づくりも大事だというご指摘だったと思う。
委員	資料3の連携体制のイメージ図があるが、教育機関も入れた方がいい。病院に来る人が多いため、生涯教育でいきいき情報センターを利用している高齢者も多い。一方、中学校もある。大学や高校もだけど、中学校の関係ある人の意見も聞いた方が良さと思う。
委員	いきいき情報センターはバリアフリーが評価されている。面白いことをやっているという情報が伝わっているのも大事。いきいき情報センターに行ってみると高齢者がたくさん来ている。五条駅からいきいき情報センターに車椅子でダイレクトに入れるような通路などがあるといい。
委員長	まちとしてのバリアフリーも大事な視点としていただいた。
副委員長	いきいき情報センターは元々ジャスコで、2階が公共施設であることもあり、バリアフリーにつくられているのは利点であり、引き継がないといけないことだと思う。いきいき情報センターは駅前にあることが大事なのか、駅といきいき情報センターの二つがセットであるのが大事なのか、回遊することが大事なのか、中心から目的地への行きやすさが大事なのか、どういう地域構造を皆様イメージされているのかお聞きしてみたい。
委員	商店街も高齢者が多い。病院に行ったついでにお店に寄る、いきいき情報センターに行ったついでにお店に寄る、という動きになっていて、私はそれで良いと思う。中心としていきいき情報センターの場所に人を集める機能があると良いなと思う。

委員	私の周りにもいきいき情報センターに行っている人はいるが、目的が終わるとすぐに帰宅すること。そういう意味では居場所としての機能が足りてないと思う。いきいき情報センターが市内全域の高齢者にとっての居場所になるといい。いきいきに行けば誰かと将棋できる、誰かに会える、そういう場所になればいいと思う。そのためには交通網が大事。もうひとつは、学生も居場所がなくてすぐに帰っているのではないか。古本屋も本屋もない、そんな学術都市があるでしょうか。映画館もないが、映画研究会の人に昔の映画をどんどん映写してもらえたら高齢者は集まると思う。
委員長	誰かが選んだ、読んだであろう本など、本に触れることもコミュニケーションのツールになるのではないかなと思う。
委員	認知症が進んだ高齢者でも、花を見てきれいだということはわかる。高齢者の居場所として花は効果的なので、駅前広場の植栽を活かせればよいと思う。古本は今の学生は読まないと思う。むしろ SNS 等で世界とつながれる場所の方が学生は来るのではないかな。もしくは、発表できる場所とかがいいのではないかな。
委員	うちに 80 代の学生もいて、音楽イベントをされている。デジタルコンテンツが良い学生もいるし、紙媒体が好きな学生もいる。今の学生は多世代の交流を求める傾向にある。地域を良くしたいということに共感する若者が多くなっている。文化、芸術の経験が少なくなっているのも、いきいき情報センターに図書館や美術館を持ってくると、今太宰府市に足りていないものができるのではないかな。ゆっくりと考える空間、作品を展示できるスペースが太宰府に足りてない。太宰府高校という芸術専門の高校もあるので、例えば文化とか芸術に特化するような、そういう風にテーマを決めて考えると良いのではないかな。そうすると五条に行く目的が明確になってくるのではないかな。
委員長	具体的な提案もいただいた。人が滞在する場所、人と対面で会う機会が作れるような場所、それも多世代であることの重要性という意見をいただいた。
委員	優れた AI でたたき台を作ってみて議論するのもいいのではないかな。
委員長	AI もワークショップメンバーとして活用できるといい。もし後日アイデアが思いついたら、事務局までご連絡いただけたらと思う。次の議題に進みたいと思う。
事務局	【報告 1 市民意見の収集について】 (資料説明)
委員	資料 7 では外から来た人の意見が取れないのではないかな。外から来た人の意見も聞くべきだと思う。

事務局	市外在住者の五条地区での過ごし方も把握できる設問を作っている。
アドバイザー	市外在住のいきいき情報センター利用者や西鉄五条駅利用者にも意見をもらえるように手配する予定である。
委員長	アンケートの Q5 に「普段」と書かれてある点が、少し地元感があるので、聞き方を少し工夫いただけたら対応できると思う。
委員	ワークショップに委員は参加することができるのか。
アドバイザー	聴講は歓迎する。一回目は課題やポテンシャルについての意見をいただき、本日の議論も含めて今後特に議論すべき論点を整理していきたい。また、学生を対象とした場も別途つくっていきたいと考えている。五条は、問題が複雑に入り組んでいて、全てを同時に考えると一歩も前に進まない、という状況が続いてきたと思うので、まず議論すべき課題を整理していきたい。
委員	大学生用のアンケートフォームは、大学生向けに少し編集を相談したい。
委員長	少し修正はされるが、この後は事務局とアドバイザーと委員にお願いし、ワークショップとアンケートの実施については事務局に一任することによろしいか。 (異議なし)
事務局	(閉会挨拶)